

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141
19年2月25日

日程

- ・2月27日(水) 三役会議
- ・3月2日(土) 理事会
- ・3月8日(金) 国際女性デー新潟県集会

今月九日、民商会館に於いて、第一回拡大推進委員会が、拡大担当支部役員を中心に、支部長、拡大担当三役が参加し、細山拡大推進委員長の進行で行われました。

最初に全商連DVDを視聴し、消費税や辺野古基地問題など情勢や全国での民商の婦人部や青年部の活動についての議論がされ、全会員にこのDVDを見てもらい、情勢にかみ合った活動をする事で、悪政による中小業者へのしわ寄せ、消費税増税に伴うインボイスでの中小業者排除の恐れなどを訴え、なぜ拡大なのか、拡大の重要性を伝えて行こうとの意見が交わされていました。また、宣伝カーの運行、折り込みチラシ、新規開業DMなどを実施して行くが、最近フリーランスやネットビジネスなど看板の出していない業者も増え、対象が見つげにくくなっている。各支部での地域訪問も重要との意見も出されていました。

会員拡大重視で、春の運動を乗り切ろうとの意思統一がされ、次回の委員会までに実践し活動交流し、支部役員、事務局と連携し、恒常的な拡大に繋げようとの発言が出されています。拡大推進担当三役は、いつでも応援体制に入っています。遠慮なくお声掛け下さい！

第一回 拡大維新委員会で積極的な討議！

申告書作成会 白根支部

2月15日(金)、17日(日)、白根地域生活センターで申告書完成班会(集会)を開催し、18名が参加しました。支部役員の伊藤さんが出席。「パネル説明」をして頂きました。テレビ、週刊紙などで報道されている内容を細かく勉強されており、説明にも熱が入っていました。

説明が終了すると聞きての会員から拍手を貰うほどのすばらしい内容でした。
自主申告については、まだまだ個人差がありますが、みんなでステップアップできるように支部で取り組んでいきます。

申告書作成会 しもまち支部

2月12日(火)は稲荷町集会場に10名が集まりました。しもまち支部は全4回、だいたいグループ分けされた日に参加。役員総出で対応しています。

最初に民商アンケート・消費税署名・9条改憲署名をお願い。ベラミさんから今年の申告の変更点(配偶者控除)について、ポイント還元による複雑な消費税率など説明がありました。「カードは使っていない」「還元する



くらいなら増税するな」「増税しても一向に社会保障はよくなっていない」「インボイス制度での影響」話し合われ、増税中止・延期は可能。市議選中央区は野本さんを応援し、しもまち活性化プランも実現してもらおう!!

申告書作成会 関屋支部

2月15日(金)は関屋地区公民館に14名が集まりました。関屋支部は全3回。事前に役員で会員訪問し、アンケート・署名を渡しながら作成会の参加を確認したため、参加率抜群で申告時に署名を持参いただいています。



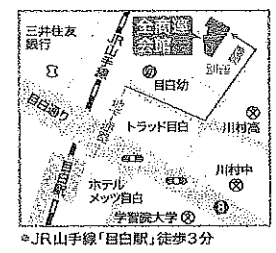
大島さんから消費税増税に伴う複雑さ、市議選中央区2名をなんとか当選させ増税中止させようと語られました。申告書作成では「自主計算ノート」の書き方がおかしいぞ」と支部長が指導する場面もありました。前年の申告書控や資料もあると確認しながら進められるのでより良く、かつ効率的です。



民商・全商連運動を次代へ引き継ぐ一大事業
会館建設募金へのご協力をお願いします。

要求実現のみんなの「とりで」・全商連会館建て替えに
 あなたの力を貸してください。

東京都豊島区目白の全商連会館(本館)は、1968年の竣工から50年を迎えました。全商連会館は、全国商工新聞や月刊民商、中小商工業研究誌の編集拠点です。また、全商連の三役会や常任理事会、全婦協や全青協、全商連共済会の会議などで活用され、さまざまな共闘組織との打ち合わせや学習・交流の場としても使われています。この度、団結の心、たたかひの「とりで」である、全商連会館を老朽化にともない、建て替えることにしました。つきましては、会館建設募金へのご協力をお願いします。

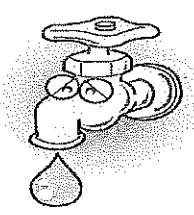


国際女性デー新潟県集会

日時：3月8日(金)18:00~20:00

会場：万代市民会館403・404号室

講演「水道民営化は誰のため？」



坂井雅博さん(前新潟水道労働組合副委員長)

参加費無料、男性の方もどうぞご参加ください。

昨年12月水道法「改正」が成立し、水道の民営化が推し進められる危険性が出てきました。民営化になると私たちの暮らしは？海外では、民営化をやめて公営化に戻してるけどどうして？「命の水」を守るためにみんなで学び合いましょう。

【全商連会館募金へのお願い】

民商・全商連は1951年の創立以来、「集まって、話し合い、相談し、助け合って、営業と生活を守る」ことを活動の原点とし、中小業者の「社会的・経済的地位向上」をめざしてきました。全国商工新聞を発行し、中小業者運動の拠点となってきたのが全商連会館です。この会館は老朽化に加え、東日本大震災によって建物にダメージを受けました。その結果、国が示す耐震基準を下回り震度6強〜7の地震により倒壊の危険性が指摘されました。そのため「建て替えか、移転か」の話し合いが行われ、全商連第53回総会で、「現在地での建て替えが最良」と判断し、会館建て替えを決定しました。全商連会館の建設は、創立70周年に向けた民商・全商連運動を次代に引き継ぐ一大事業となります。皆様に心からの会館建設カンパへのご協力をお願いいたします。